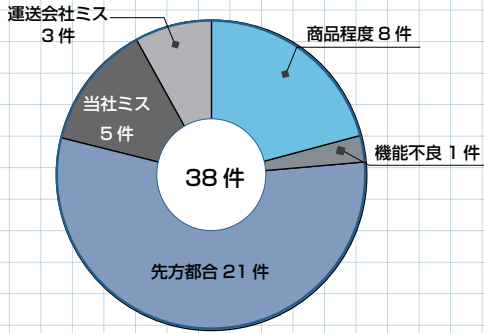


リポートニュース

平成27年6月号 NO.157

社内のIT化は、10月の完成を旨とし最終開発に入りました。第1次ソフト開発では、入荷されたコア情報を音声にて1点ずつエクセルに取り込む事が出来ました。第2次では、検索機能を充実させ、社内どこからでも入荷コアの在庫が見られる様になりました。第3次ではYahoo オクで落札されたユーザー情報と入金情報を自動照合して一致したものから出荷指示書、送り状がプリントアウトされました。そして最終開発ではYahoo オクに出品する商品の写真撮影から付加情報の記入など、タブレットで直接入力し、Yahoo オクにダイレクトで出品するシステム作りに着手しました。安価なりノベートパーツのご提供に労務のムダを省く作業を続けています。

5月のクレーム ⑦ 集計報告



自社主力商品別クレーム (輸出版売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳	
バンパー	2件	2/1,356	0.15%	取付3ヶ所欠損見落とし、下面と側面に歪み残る
フード	2件	2/244	0.82%	角折れて届いた(運送事故の可能性大) エンブレム周辺波打ち
フェンダー	1件	1/676	0.15%	補修ヶ所とその周辺変化
ドア・Rゲート	0件	0/147	0.0%	
ライト	1件	1/1,074	0.09%	LED点灯不良
計	6件	6/3,491	0.17%	

普及が加速する自動ブレーキ BP事業者と損保会社の課題

(2015.6.8 日刊から抜粋)

「钣金修理した際にカメラやレーダーが正常に作動するか確認したいが、メンテナンス手法が確立されていない。自動車メーカーによる汎用スキャンツールのデータ提供も十分とは言えない」(BP事業者)又、国土交通省が自動車保険を割引くことができないか検討を始める状況に対し、損保業者は「標準搭載車のみにしてほしい、車検証に記載される型式で確認できないオプション設定が対象になれば、支払い漏れの要因となる」としている。自動車メーカーの車体設計担当者は、正常に作動させるには適正な固定位置と検知機能の稼働状況を確認する必要がある。現状、専業のBP事業者の間では、これを完結するためのメンテナンス手法が確立しきれていないという。

石坂産業(建設系産業廃棄物リサイクル業) 見学会

業界のイメージを変える!(環境改革の取組み)
H11年(1999年)に所沢の農産物はダイオキシンに汚染されてえいる...といった報道が駆けめぐると「石坂産業は出て行け」と地元環境団体から強烈な集中砲火が続いた。それは2年前のH9年に15億円を投資してダイオキシン対応型の焼却施設から昇る煙(全く違法性が無い)が格好的となったからである。こうした逆境の中で石坂典子さん(会長の長女)が社長に就任し、これまでの汚いイメージを刷新し地元 roots 永続企業を旨として改革がスタートした。まず、糾弾的となった15億円の焼却炉を廃棄、ISOの取得と3Sの徹底、全天候型独立総合プラントを導入、社内・外のイメージを一新させた。地域住民との融合も積極的に進められ、ボランティアで地域の緑地管理も始まった。こうした一連の環境活動が「あの会社と取引したい!」といった声になり、年商41億、経常利益20%となる会社へと変貌を遂げた。
http://www.ishizaka-group.co.jp/yamayuri_club.php



北海道出張 .. ブログからの抜粋..

6泊7日の北海道の出張も引き継ぎが順調に進み、今回は完全な補助員に徹し、集荷したコアをトラックに積み込む作業に専念、実質的な仕入れは全て引き継ぐ常務に任せた..。仕入れ技量の差というか..常務は売れ筋アイテムを詳しく知っているので「え~ これも持って行ってくれるの~」といった仕入れ先の声をたびたび聞いた..もっと早くから仕入市場を渡していればという後悔の念もおこった..。しかしながら集荷したパーツを破損しないようにトラックに積み込む手法と最終的な集荷量を常に推測して..つぎの仕入れ先で積み込むパーツのスペースを確保しながら4日間の仕入れで集荷した全てのパーツを積み残しなく持ち帰ることが出来たのは、これまでの経験があればこそと自負している..。..急きょ途中のホームセンターでベニヤ板を購入して、パーツの落下防止に使うなど柔軟な対処法も、引き継ぐ常務に教えることができた..。体力的な問題で、あと何回同乗できるかわからないが..私が必要とされる限り北海道への出張は続けたいと思っている..。



豆知識 ムーヴコンテカスタム L575S H20.8 ~の フォグランプ前期・後期の違い

- 前期 ~H25.7中にカサがない... 写真下段(KOITO114-51943)
- 後期 H25.7~中にカサが付く... 写真上段(KOITO114-51099)



写真上段 後期タイプ
写真下段 前期タイプ

ペーパーレスFAXの導入

毎日お客様から送られてくる、部品問い合わせFAXの量は1日200枚近くになりますが、その中には不要な宣伝FAXも多く紙の無駄が指摘されていました。今回、リコーさんの協力で「ペーパーレスFAX受信システム」を導入することになりました。お客様からの部品問い合わせの回答は従来通りで変更はありません。今後もよりスピーディーなFAX回答をめざして業務カイゼンに努めてゆきますので、在庫問い合わせFAXをどんどん流して下さい。お待ちしております。

新規お客様のアンケート調査

毎年7月から10月にかけて実施されているアンケート調査とは別に新しく取引が始まったお客様を対象としたアンケート調査をスタートさせました。調査内容も初めてリノベートパーツを活用したお客様から、新鮮なご意見をお聞き出来る様な質問事項となっています。リノベートパーツのより一層のカイゼンに努め、お客様のニーズに合わせた使い勝手の良いパーツのご提供に努力してまいりますので、アンケート調査のご協力をお願いします。



ホットー息コーヒータイム

樹 続 吉野弘 詩集より

人もまた、一本の樹ではなからうか。樹の自己主張が枝を張り出すように人のそれも、見えない枝を四方に張り出す。

しかも人は、生きるために歩き回る樹互いに刃をまじえぬ善がない。

身近な者同士、許し合えぬことが多いのは 枝と枝とが深く交差するからだ。それとは知らず、いらだって身をよじり 互いに傷つき折れたりもする。

枝の繁茂しすぎた山野の樹は 風の力を借りて梢を激しく打ち合わせ 密生した枝を払い落とす一と 庭師の語るのを聞いたことがある。

仕方のないことだ 枝を張らない自我なんて、ない。

人は、どうなのだろう? 剪定はさみを私自身の内部に入れ、小暗い自我を刈りこんだ記憶は、まだ、ないけれど。